

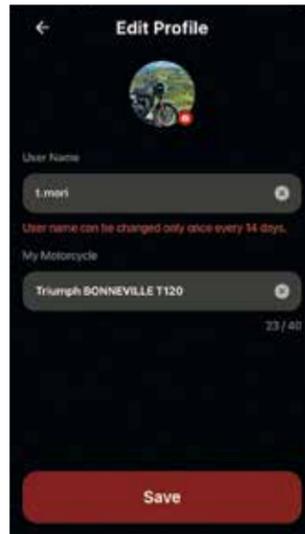
# 誰とでも、どうつながる？ WAVE通話 使い方ガイド

WAVE通話は、SENAユーザーだけの機能ではない  
スマートフォンがあれば、他社インカムでも参加できる“開かれた通話アプリ”  
ただし、SENAインカムと組み合わせることで操作性や切替のスムーズさは格段に向上する  
では実際に、どうやって使うのか？ 誰と、どんなふうにつながるのか？  
走りながら使うための基本を、あらためて整理する

文 / 編集部  
問：SENA日本総代理店 インターソリューションマーケティング <https://senablueetooth.jp>

## STEP 3 アイコンや 表示名 などを登録

表示名やアイコンを登録する。  
Geo Waveではユーザー名が地図上に表示されるため、判別しやすい名前にしておくとう便利だ。  
グループ走行時の混乱を防ぐ意味でも、事前設定は重要になる。



## STEP 2 各種 アカウントで ログイン

GoogleアカウントやApple ID、メールアドレスなどでログインする。誰でもアカウントを作成できるため、SENAユーザーでなくても参加可能だ。現在は英語表記のみなので、初回は画面を確認しながら進めたい。



## STEP 5 通話を 開始する

Geo Waveでは地図上に表示されたユーザーと、Friends Waveでは登録済みメンバーと通話できる。用途に応じてモードを選択することで、近くのライダーとも、固定メンバーとも会話が可能になる。



**Geo Wave**  
周辺にいる人と  
誰とでも話そう！

アプリを立ち上げていなくても、  
フレンドからの呼び出しには  
通知が来る



**Friends Wave**  
見知った仲間と、距離制限なしで通話

## STEP 6 インカムと接続

スマートフォンとインカムをBluetooth接続すれば  
音声が出力される。他社インカムでも利用できるため、SENA製品がなくても参加可能だ。WAVEは“開かれた通話アプリ”である点が特徴だ。



R35

どんなインカムでもOK!

メッシュボタンを2回  
タップ！でWAVE通話開始！



60S

### SENA MESH対応モデルなら 本体操作で切替可能

MESH対応SENAモデルでは、MESHボタンの操作でWAVEへ切り替えられる。ダブルタップでWAVE通話を開始できるため、スマートフォン操作を最小限に抑えられるのが強みだ。



## STEP 4 友達を追加

特定メンバーと通話する場合はフレンド登録を行う。検索や招待リンクなどで追加でき、登録済みメンバーだけの通話グループを作成可能だ。仲間内で確実につながりたいときに有効な方法である。

## STEP 1 WAVE Intercomを ダウンロード

WAVEは、スマホひとつで“声”と“位置”を共有できる、ライダー専用の通話アプリ。仲間が今どこにいるかを地図で確認しながら、会話ができる。グーグルマップで位置共有しながら、LINE通話をするようなモノ。もうペアリングも設定も不要。集合・通話・合流が、ぜんぶアプリで完結する新時代のライダーインフラ



WAVE  
Intercom



Android



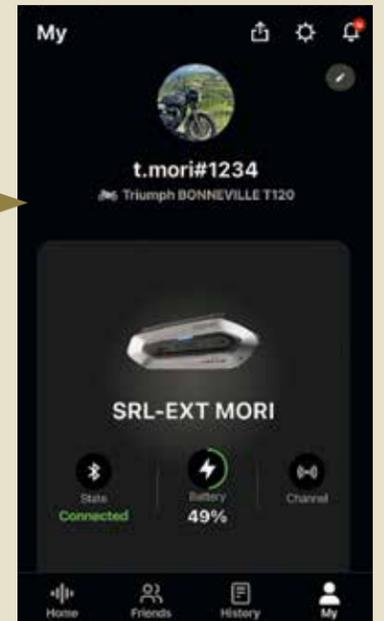
iOS

近日中に日本語対応予定!

## What is WAVE?

インカムに依存しない、  
しゃべれる地図アプリ

WAVEは、便利な  
通話アプリにだけではない。



Bluetoothで接続すれば、  
音声はそのままヘルメット内へ届くため、特別な機材は必要ない。  
グループでの集合前に接続テストをしておけば安心感も高まるし、  
初対面ライダーとその場で会話が始まる体験もWAVEならではだ。  
SENA製品でなくても利用できるのは大きな魅力だが、現在販売中のMESH対応のSENAモデルなら本体ボタン操作でWAVEに切り替えられるため、走行中でも扱いやすい。通信環境によって品質が左右される場面もあるが、それも含めてつながる選択肢が増えるのは心強い。まずは基本の流れを理解し、実際に試してみることが、WAVEの便利さを実感するいちばんの近道だ。

まずは知っておきたい  
WAVEの基本

WAVE通話は、SENAユーザーだけの特別な機能ではない。  
スマートフォンにアプリを入れれば、他社インカムでも参加できる、オープンな通話ツールだ。まずはWave Intercom Appをダウンロードするところからスタート。WAVEはインカム本体に入っている機能ではなく、アプリを通して使うサービスという点を覚えておきたい。

ログインはGoogleアカウントやApple IDなどで可能で、特別な手続きは不要。現在は英語表記のみだが、画面構成はシンプルで、案内に沿って進めれば迷うことは少ない。表示名やアイコンを設定しておけば、GeoWave利用時に地図上へ名前が表示され、誰が参加しているのかが一目で分かる。通話方法は大きく二つあり、地図上に表示されたユーザーとつながるオープンなコミュニケーションの「GeoWave」と、登録した仲間だけで通話できる比較的クローズドな「Friends Wave」が用意されている。ツーリングの規模や目的に合わせて選べるのがWAVEの面白いところだ。

スマートフォンとインカムを